

2022年5月23日

会員企業の皆さま

平田商工会議所

貴社従業員等への追加接種の呼びかけへのご協力方お願いについて
(政府からの協力依頼)

5月9日、松野博一ワクチン接種推進担当大臣（現官房長官）の意向（別添ご参照）を踏まえ、経済産業省から日本商工会議所に対して、各地商工会議所の会員企業の従業員等への追加接種の呼びかけについて、協力依頼がありました。

現在、全人口に対する3回目のワクチン接種率は、5月6日時点で約54%となっていますが、特に若い方の接種率が低い傾向にあります。政府では、新型コロナに感染した場合、若い方でも重症化し、後遺症の心配もあることから、企業を通じて若い従業員等への接種促進を呼び掛けたいとの意向です。

商工会議所では、感染拡大防止と社会経済活動を高次元で両立させ、経済を止めずに回していくために、ワクチン接種の推進に協力しております。

つきましては、本趣旨をご賢察のうえ、可能な範囲で従業員等への追加接種の呼びかけを賜りますよう、何卒よろしくごお願い申し上げます。また、ワクチン接種に関する休暇等の取扱いにつきましても、政府から皆様への周知依頼がございましたので、別添資料をご参照いただきますようお願いいたします。

なお、島根県には本件に係る相談窓口が設置されていますので、各種お問い合わせにつきましては、島根県の相談窓口へご連絡いただけますと幸いです。

<別添資料>

○松野大臣からの協力依頼要請文

【島根県相談窓口】

島根県健康福祉部感染症対策室 ワクチン接種支援グループ

連絡先 TEL : 0852-22-6175

メール : corona-vaccine-shokuiki@pref.shimane.lg.jp

※まずは上記メールアドレスまでご連絡ください。

【本件担当】平田商工会議所 TEL : 0853-63-3211

拝啓

日頃より、ワクチン接種推進の取組に関して、多大なご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルスの感染拡大を抑え、医療の逼迫を回避しながら、できる限り日常の生活を取り戻していくためには、新型コロナワクチンの接種を進めることが大変重要と考えております。

3回目のワクチン接種については、若い世代も含め本格化してきました。全人口に対する3回目のワクチン接種率については、5月6日(金)公表時点で、全国で53.6%となっています。しかし、特に若い方の接種率が低い傾向となっています。新型コロナに感染した場合、若い方でも重症化するケースがあり、いわゆる後遺症の心配もあることから、高齢者はもとより、若い方についても3回目接種は重要です。

最新の国内データでは、3回目接種を受けた方は、2回接種した方よりも、新型コロナに感染する割合が大幅に低いことが分かってきました。また3回目接種により重症化予防効果も長く保たれます。このため、できる限り早く、できるだけ多くの希望する方に接種いただけるよう、ワクチン接種の加速化が必要であると考えております。

政府としても、職域接種のほか、自治体と企業・大学等が連携して行う団体接種の取組などを推進する考えです。

つきましては、企業等で働く従業員の方々について、一層ワクチン接種が進むよう、会員企業・団体等の皆様に対して、周知や働きかけを行っていただくなど、引き続きご協力のほど、よろしく願いいたします。

敬具

ワクチン接種推進担当大臣
松野 博一